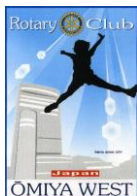


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2022-23 年度 大宮西ロータリークラブ 週報

創 立：1963年 3月22日

例会場：パレスホテル大宮

例会日：月曜日 12:30～13:30

会 長 小沢 孝

幹 事 榎本 貞寿

クラブ会報委員会 小岩 淳一

第2764例会

発行日

2023/02/13

2023/02/20



イマジン
ロータリー

会長挨拶



会長 小沢 孝

皆さんこんにちは。

まずは、韓国訪日団のインターアクトの学生を受け入れていただいた土屋理事さん、お疲れさまでした。また、ご対応としての奉仕活動ありがとうございました。後ほどご報告よろしく願いいたします。

本日は、職業奉仕委員会担当による例会です。卓話者 武蔵野銀行 高倉様には「サステナビリティへの取り組み」と題して、持続可能な仕組みや方法、会社としての報告や事例を含めての説明をしていただきます。勿論 CSR や SDGs を含めての卓話となります。よろしくお願いいたします。

本日の食事ですが、ご案内の通り SDGs を考え、お肉ではなく“大豆ミート”を召し上がっていただくことにいたしました。ご存じのとおり家畜は、牛のゲップによるメタンガスや飼料の問題など、持続可能な社会を形成するにあたって地球規模の環境における社会問題にもなっております。研究の結果から、飼料の改良により牛のゲップの改良結果も打ち出されてもいるようですが。まずは皆さんに試していただきました。いかがだったでしょうか。



先週の閉会の点鐘前のご挨拶で、大豆ミートというフレーズが出ず、「偽物の肉」とお話ししてしまいました。(株)パレスエンタープライズ(パレスホテル大宮)の社長である海保会員が「会長の言った偽物の肉ってなんだ？」と社員の方に聞いてたのが印象的でした。お騒がせして申し訳ございませんでした。

パレスホテル大宮 小島 伸一 様よりご案内

●大豆ミートとは

大豆を専用の装置に入れ、加熱加圧してタンパク質を繊維状にします。それをミンチやフィレの型にして食肉のように使いやすい形にしたものです。

●サステナビリティのサイクル

世界の人口増→肉の需要増→生産には多くの水や穀物が必要→森林を伐採して農地を確保→森林の CO2 の吸収が出来ない→温暖化が進む という悪循環 生産効率の良い植物肉の生産を広めることで、環境負荷を抑え、世界的な栄養状態の改善や飢餓リスクの低減に貢献することが期待されます。

●パレスホテル大宮の取り組み

食べ残しを肥料に変えるコンポスト製造機の導入などで環境に配慮しています。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

是永 泰宏 会員



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

■株式会社 武蔵野銀行 総合企画部 副部長 兼 サステナビリティ推進室長 高倉 啓 様

(ご紹介：
会長エレクト
藤嶋 剛史)



幹事報告

幹事 榎本 貞寿



①次年度地区チーム研修セミナーが2/22(水)9:30よりソニックシティ4階市民ホールにて行われます。当クラブより8名の方が委嘱されております。該当の方のご出席をお願い致します。

②さいたま市暴力排除協議会より暴力排除講演会のお知らせが届いております。3/10(金)15:00から浦和の市役所近くのプリムローズ有朋で開催されます。

60 周年 新たな奉仕活動へ ～すべては好奇心から始めよう～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4 階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



③さいたま市スポーツ文化局文化政策室より、さいたま市を舞台に3年に一度開催される芸術の祭典、さいたま国際芸術祭 2023 が開催されるに当たり、公式ティザーサイトの公開、応援プロジェクト認証事業及び公募プログラムの募集のお知らせが来ております。ご関係また、ご関心のある方は事務局までご連絡ください。

公式ティザーサイト URL <https://artsaitama.jp/>

④台湾南投扶輪社 60 周年記念式典及びゴルフコンペへの参加のご案内が届いていると思います。

出欠の連絡を 2/20 (月) までお願い致します。

⑤再度のご連絡となります。川口モーニングRC よりアイメイト (盲導犬) 寄贈チャリティーゴルフのご案内です。4/3 (月) プレステージカントリークラブで開催されます。申し込み締め切りが、2 月末日となっております。ご希望の方は事務局までお申し出ください。

委員長報告・派遣役員報告

■地区インターアクト委員会 委員 横溝 一樹

4 年ぶりに日韓インターアクト交流事業が再開されました。2/4 (土) ~ 9 (木)、大きなトラブルもなく日程を終えましたことをご報告いたします。小沢会長、土屋理事、お骨折りありがとうございました。国際交流・青少年育成、今後もよろしくお願いいたします。



■60 周年記念委員会 委員長 伊田 雄二郎

本日、案内が配られているかと思いますが、3/18 (土) パレスホテル大宮で開催される、創立 60 周年記念式典・祝賀会のお知らせです。会員のご家族一名まで無料で参加 OK です。皆様で 60 周年をお祝いしましょう。式典では、造園家 涌井雅之先生の講演も行われます。



■青少年奉仕担当理事 土屋 隆弘
インターアクト 2 名を迎えました。歓迎のアトラクションが行われたり、浅草・川越を訪れたりしました。埼玉栄高校にも訪問、吹奏楽部と交流しました。以上、ご報告いたします。



2023-24 年度 地区役員 委嘱書授与

■地域社会奉仕・ブライダル委員

新井 清太

■地域社会奉仕・ブライダル委員

岡部 勉

■規定審議会検討委員 川井 理砂子

■クラブ活性化 副委員長

風岡 淳一



■青少年交換委員 川鍋 洋子

■国際交流委員 副委員長

島村 まり子

■国際交流委員 松本 有祐



■米山記念奨学増進副委員長

増永 裕樹



卓 話

株式会社 武蔵野銀行

総合企画部 副部長 兼

サステナビリティ推進室長

高倉 啓 様



卓話者ご紹介

■職業奉仕委員会

委員長

増永 裕樹



武蔵野銀行の サステナビリティへの取組み

自己紹介

1988 年に武蔵野銀行に入行し、銀行生活の半分以上を本部の企画・管理部門に従事してきました。

1. 武蔵野銀行について

創業は 1952 年で、昨年 70 周年を迎えました。経営理念は「地域共存」「顧客尊重」で私たち行員は常にこの経営理念を意識して行動するとともに、課題にぶつかったときはこの経営理念に立ち返って考えることにしています。店舗ネットワークは、110 の拠点がありますが、そのうち 102 拠点が埼玉県内にあり、9 割以上の拠点を埼玉県内に置く、埼玉県に特化した地方銀行です。

●近年の取組推移

年月	内容
	経営理念 (地域共存・顧客尊重)
2008 年	CSR 基本方針
2019 年 3 月	武蔵野銀行 SDGs 宣言
2021 年 9 月	サステナビリティ推進委員会設置、TCFD への賛同
2021 年 12 月	サステナビリティ基本方針策定
2022 年 3 月	サステナビリティ推進室設置

●サステナビリティへの実践的な取組体制

・推進室設置に合わせて本部各部横断的に具現化に取組むため 3 つの分科会を設置

分科会名	役割
地域経済活性化分科会	お客さまの SDGs への取組みを本業で支援
地域社会活性化分科会	埼玉県内における SDGs 推進に貢献
環境・ダイバーシティ分科会	世界市民の一員としての銀行自体の取組み

サステナビリティの視点を経営に積極的に取り入れ

武蔵野銀行 SDGs 宣言 (2019 年 3 月)

目指すべき姿 (重点領域)	
・持続的成長の源泉としての企業統治	・持続可能な地域経済
・いつまでも自分らしく暮らせる地域社会	・気候変動への対応と生物多様性の維持向上

サステナビリティ基本方針等の制定 (2021 年 12 月)

サステナビリティ 基本方針	当行の経営理念「地域共存」「顧客尊重」に基づき、地域活性化を実現し、中長期的な視点で経済価値と社会価値の両立を目指します。		
環境方針	投資方針	人権方針	

2. サステナビリティの取り組み

昨年3月にサステナビリティの取り組みを加速させるため、サステナビリティ推進室を設置し、また確実に具現化していくために本部各部横断的に3つの分科会を同時に設置しました。

2021年9月にはTCFDへの賛同を表明し、気候変動に関する取り組みについて複数のシナリオを考慮して適切な開示に努めております。

TCFD＝気候変動に関する財務内容開示のタスクフォース

TCFDへの賛同（2021年9月）

気候変動に関する取り組みの適切な開示

（TCFD＝気候変動に関する財務内容開示のタスクフォース）

＜主な開示内容＞

項目	2022年度開示内容
ガバナンス	・「サステナビリティ基本方針」「環境方針」を制定 ・「サステナビリティ推進室」の設置及び具体的な取組の明示
戦略	・気候変動対策が講じない物理的リスクの認識について明示 ・洪水による担保物件毀損及び取引先事業停止に伴う売上減少割合定量化 ・お客さまのSDGs取組やESG経営をサポートするスタンスの明示 ・コンサルティングメニューと金融商品の紹介
リスク管理	・気候変動に起因するリスクが、当行の事業運営、戦略、財務計画に大きな影響を与えるリスクとして統合的に管理していく体制の指向
指標と数値	・グループ全体の排出量（SCOPE1.2）の排出量開示 ・CO ₂ 排出量の削減目標の開示 ⇒ 2030年までに2013年度比70%削減 ・サステナブルファイナンスの目標金額設定 ⇒ 2030年までに実行総額1兆円

・今後は気候変動だけでなく生物多様性に関する開示（TNFD）にも対応予定

21世紀末までに脱炭素に積極的に取組まない4℃上昇シナリオでは、県の面積に占める河川の割合が全国有数で平地が広い埼玉県では、洪水による大きな災害が想定され、県内の皆さまと一緒に早急に脱炭素に取組んでいく必要があろうかと思っております。そこで当行は様々なお取引先の脱炭素をはじめとしたSDGsの課題に対応した商品・サービスを数多く用意しており、お取引状況や企業規模・業種などに応じて、最適なご支援メニューをご提供いたします。

1社1社の取組状況や企業規模・業種などに応じ、最適な支援メニューを提供

＜主な支援メニュー＞

ファイナンス	ソーシャルローン	ソーシャルローン原則に適合する社会課題解決に資する事業への融資
	サステナビリティ・リンク・ローン	サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの達成状況に応じ、金利条件が変動
	サステナビリティ・プレミアムワーク・ローン	サステナビリティ・リンク・ローンを手続・費用面で利用しやすい融資商品
	SDGs フレンズローン	チェックシートを活用、SDGsと経営課題の関係を可視化。情報発信や他社との交流などをサポート
コンサルティング	SDGs コンサルティング	SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングでSDGs宣言策定を支援
	脱炭素 コンサルティング	CO ₂ 排出量算定・CO ₂ 削減計画策定支援
	SDGs 診断サービス	SDGsの取組状況を可視化する「診断」を実施

また、当行が営業基盤としている埼玉県の持続可能こそが当行の将来につながりますので、地方公共団体やNPOなどと連携しつつ、金融経済教育をはじめとして埼玉県の次世代に積極的に関与していかなければならないと考えています。

地域公共団体・NPO等との連携

埼玉県版ふるさとSDGsボードゲーム製作への協力

- ・埼玉県内の行政・企業・団体等によるSDGsの取組事例を紹介した「埼玉県版ふるさとSDGsボードゲーム」製作プロジェクトに参加。
- ・武蔵野銀行本店2階地域創生スペース M's SQUAREでゲームの完成披露＆体験会を開催。
- ・ボードゲームを通して、SDGsの理解を深めるとともに、地域で交流の機会を創出。



- ・埼玉県版SDGsボードゲームは、全国版、神奈川、滋賀、京都に次ぐ4回目
- ・交流イベントの開催や子ども教育など、埼玉県内のSDGs普及促進で幅広く活用

2023.1

M's SQUARE



（SDGsに関する特徴的な取り組み）

生物多様性への取り組み

「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」は、当行40記念事業として、1992年にスタートしました。これまでに埼玉県内で自然環境保全に取り組む331団体に7,651万円の助成を行っております。

また、2021年12月に開業した本店ビルの1階周辺に、約1400本の地域在来植物を植栽して、銀行本店として初のJHEPの認証を取得しました。JHEPとは建物などに対して生物多様性への貢献度を評価する認証制度です。生物多様性保全はその地域毎に取組んでいく必要がありますので、地方銀行の経営と非常に親和性があると個人的には感じております。

- ・2021年12月開業の本店ビルにて、地域在来植物による植栽を実施
- ・生物多様性を評価する「JHEP」を銀行本店で初取得



豊かな色彩の「武蔵野の森」



JHEP AA取得

従業員へのSDGsの周知・浸透

「誰一人取り残さない」ことを目指すSDGsは、みんなで取り組まなければならないことです。SDGsの取り組みが一過性のものにならないように、少しずつ確実に従業員に浸透していければと考えています。



従業員のSDGsの知識習得・意識向上に向けて

全ての従業員がSDGsを理解して公私にわたって実践してほしい。
（会社でも自宅でもどこでも学習可能）

行員専用サイトによるSDGs学習講座	
講座名	SDGsを学ぶ講座
内容	・SDGsの基礎から発展的な知識まで細分化されたテーマ（単元）毎に学習 ・SDGsとは何かから企業等の具体的な事例まで理解すべき事項を広範囲に学習
構成	・全45回の単元 ・全単元終了後、習熟レベルチェックテスト3回を経て検定試験を実施 （習熟レベルチェックテスト3回合格して講座を終了しないと検定試験は受験できない） ・検定試験の受験機会は1回のみで70点以上が合格 ・検定試験を含む総学習時間は約20～30時間程度
対象者	全従業員
目標	2023年3月末までに対象者全員が検定試験に合格する。
費用	個人負担なし（全額銀行負担）

